

2025

1

January
No. 383

広報

みしま

「大きなきねでぺったんぺったん！」

12月19日、三島保育所の餅つき大会が行われ、子どもたちは自分の体と同じくらいのきねを持ち上げ、元気よく臼に振り下ろしました。できあがった餅は、きな粉餅やあんこ餅にして、食べました。「きねは重たかったけど、来年もしたい」とうれしそうでした。

福島県
大沼郡
三島町



三島町は、福島県の西部を流れる只見川沿いの小さな町です。優良な「会津桐」の産地として知られるほか、小正月の行事「サイノカミ」や、野山の材料で作る「編み組細工」などの伝統が受け継がれ、「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

あけましておめでとうございます

安全・安心な 町づくり

にへいとしひろ
三島町議会議長 二瓶俊浩



明けましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては健やかな新年をお迎えになられたこととお慶びを申し上げます。輝かしい令和7年の年頭にあたり議会を代表して年頭のご挨拶を申し上げます。

さて、令和6年を顧みますと、年の初めの1月1日に発生しました能登半島地震からスタートしたといっても過言ではないと思います。私も昨年の7月の終わりに両沼議長会で現地視察に行つて参りました。早7カ月が過ぎようとしているのに地震で生じた道路の亀裂や段差の修繕は少し動きがありましたが、倒壊した家屋解体や大規模な火災のあった場所などはほとんど手つかずのまま、本当に悲惨な状況でした。それにも増して9月には記録的豪雨にも見舞われました。お亡くなりになられた方々のご冥福を謹んでお祈りいたしますとともに、被災された全ての方々に心よりお見舞いを申し上げます。そして、1日も早い復旧復興を願っております。

また、物価高や燃料の高騰の影響で国民の生活は苦しさが増しています。特に中小企業、個人企業においては廃業も選択する企業も増えていくと、住民へのサービスが低下してしまうのではないかと危惧しています。また、衆議院の解散選挙により少数与党となった結果、政治は今後どのように動いて

いくのか、国民のどれもが最も関心があることであり、何にしましても国民の生活をしっかりと見た政治、施策を展開して頂く事を期待いたします。

そんな中、町では、「ふるさと会津工人まつり」「てわっさの里まつり」がコロナ感染症5類への移行に伴い、行動制限も解除になってから初めてコロナ禍以前の状態で開催できましたことは大変心強く感じております。また、8月12日に秋篠宮 佳子様が本町の道の駅ビューポイントに視察においでになられました。只見線の列車に手を振られ、お帰りの際にはお出迎えになられた町民を含む多くの方々にお声がけをされておられました。町民の方々も大変感動されたことと思います。また、11月8日にはふるさと運動50周年記念事業として宮下駅前広場においてテレサ・テン歌碑除幕式が執り行われ、テレサ・テンのお兄さん、姪御さん、音楽関係者、そして東京、仙台、中国の上海等のファンクラブの方々も出席され盛大に祝うことができ、今後のインバウンドなどの交流の励みになることを期待するところであります。

大きな事業としては、県立宮下病院の建替に向けた工事が始まりました。まずは進入道路の工事から始まり、基本設計も決まり地区座談会において町より説明がされました。

また、大谷バイパスの工事も今現在

は計画どおりに進んでいるとのことを会津若松建設事務所より伺っております。そして昨年12月1日には滝谷松原線の松原バイパス中心杭設置式が執り行われ、工事に向けた準備が始まります。少しでも早く完成するには、いずれも予算の確保が大事になってまいりますので、今まで以上に後援会、期成同盟会そして関係機関と連携しながら要望活動等に力をいれて参りたいと考えております。

今、町の一番の課題は人口減少の問題ではないかと思っております。この問題は当町だけではないことは皆様ご存じのとおりであります。1990年から2000年代、この時点で人口減少が起くることは確実視されており、今後、人口は減り続け、少なくとも数十年間は止まらないと言われております。町の良さをPRし、移住人口を増やすことも大事な事ですが、発想の転換、公共施設等の共有、複合化など人口減があつても困らない「しくみ」を考えていく事も大事な事ではないかと思ひます。

皆様のご意見ご指導を賜り、本年もより身近な議会に感じて頂けるように努力して参ります。

結びに、本年が災害のない平穏な年であるとともに、町民の皆様のご健康とご多幸を心から御祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

新年のご挨拶を申し上げます

住みたい・住み続けたい ふるさと創りをみんなの力で

やざわげんせい
三島町長 矢澤源成



明けましておめでとうございます。新しい年を迎え、町民の皆様にとって2025年が希望と平和に満ちた年となることを、心よりお祈り申し上げます。

令和7年は、皆さんご存知のとおり「巳年」です。へびというところのイメージを持つ方が多いかもしれませんが、へびは脱皮を繰り返し返して成長していく生き物なので、実は再生や成長という積極的なイメージがあるそうです。我々も経験や学びをとおして自分を成長させることができますし、失敗や困難を経験したとしても、新たな挑戦の機会として受け入れることができると考えています。

現代は、テクノロジーの進化によって、あらゆるものを取り巻く環境が複雑さを増し、また先行きが不透明で、将来の予測が困難な時代と呼ばれています。グローバルの流れに目を向けても、さまざまな国の政治の先行きが不透明であり、今までやってきたことやスタンダードだと思われていたことが、ここにきて崩れていつているような気さえます。

さて三島町は、人口減少と少子高齢化が加速進行するとき、先輩職員の皆様は進取果敢に過疎対策

の優等生として、全国の過疎地域の先達として、都市と農村の交流である「ふるさと運動」や地域資源を活用した「生活工芸運動」や集落の活性化のための「地区ブランド運動」、また「健康づくり運動」や「有機農業運動」など、これらの運動を連携しながら展開してきたところであります。

これらの運動は50年前から展開してきたという驚きが多くの大学の先生が驚くところでありますが、今に生きる運動であつたと絶賛してくれませんが、これらの運動の理念と人口減少等との実現のギャップを常に考えていかなければなりません。これらの運動の正当性が頭から離れることはありません。

「住みたい・住み続けたいふるさと（桐源郷）を創る」ために、これまで柳津町との学校給食施設の建築や無料化、保育料の無料化、紙おむつの支給補助等々実施してきました。さらに、テレサテン歌碑、大谷バイパスの建設や松原・滝谷トンネル工事を確定することができました。特に過疎山村における病院の新築や地域在宅医療センターの新築にあつたつては、三島町という圏域ばかりだけでなく、4町村連携という視点から県

にも積極的に働きかけ実現することができました。

医聖野口英世博士は、「私たちに変えられることは2つある。1つは自分自身、もう1つは未来だ。」と言っています。

我々は過去を変えることはできません。しかし三島町を含めた4町村の行動によって、未来を変えること、未来を創り出すことができます。

予測不可能な時代だからこそ、今まで以上に率先して行動していく覚悟です。また、想定外のことが発生し計画どおりに物事が進まないことも多いので、すぐに臨機応変に対応していくことが必要です。さらに、組織内においても変化に合わせて適切な組織変更を検討していくことも考えられます。

さまざまな課題に積極的に挑戦していく覚悟ですので、より一層町民の皆様の声を町政に反映させていきたいと思ひますので、今後とも支援ご協力をお願いいたします。

結びに、この1年が町民の皆様にとって幸多き年となりますことをご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

受賞おめでとうございます

生涯学習表彰受賞者

- ルーマニア国際ジュニア音楽コンクール
福島地区予選会
最優秀賞・本選出場
三島小5年 ^{おおたけしんたろう} 大竹真太郎
- 国際声楽コンクール東京本選
3 位 三島中3年 ^{おおたけ かおるこ} 大竹 薫子
- 県中学校生徒造形作品秀作審査会
(絵や彫刻・平面)
特 選 三島中3年 ^{さいとう しょうこ} 齋藤 翔子
特 選 会津高1年 ^{にへいけんじろう} 二瓶剣士朗
- 福島民報旗県中学生新人陸上大会 2年砲丸投げ
3 位 三島中2年 ^{にへい しんぞ} 二瓶 伸悟
- 県空手道選手権大会 形 中高生初級種目
1 位 三島中2年 ^{いしおかけんしろう} 石岡健志郎
- ふくしま空手の日空手道大会 形
太極その1 中学生の部
優 勝 三島中2年 ^{いしおかけんしろう} 石岡健志郎

社会を明るくする運動標語 コンクール表彰受賞者

- 【三島小学校の部】
- 特 選** 三島小5年 ^{あおき たいち} 青木 大知
「あいさつで 人と関わる 第一歩」
- 入 選** 三島小6年 ^{いがらしゆづき} 五十嵐悠月
「寄り添って 命の尊さ 大切に」
- 三島小6年 ^{めのかわ るい} 布川 琉生
「支え合い だれかがきつと 味方だよ」
- 【三島中学校の部】
- 特 選** 三島中1年 ^{くまがい ゆい} 熊谷 祐衣
「あいさつと 笑顔でつながる 地域の輪」
- 入 選** 三島中3年 ^{すずき よしたか} 鈴木 康生
「顔を見て 心を繋ぐ あいさつを」
- 三島中3年 ^{めぐろ はな} 目黒 はな
「ねえ見てよ 家族友達 そばにいる」

「十七字で奏でよう」表彰受賞者

- 【三島小学校の部】
- 最優秀賞**
三島小5年 ^{あおき たいち} 青木 大知 / 父 ^{あおき たけひこ} 青木 武彦
「今日こそは 父に勝ちたい うでずもう」
「まだまだだ 強がってみたけど やばいかも」
- 【三島中学校の部】
- 最優秀賞**
三島中3年 ^{くりき かほ} 栗城 花穂 / 母 ^{くりき ひろみ} 栗城 浩美
「支えられ ここまで来たぞ 受験生！」
「十五年 君がいたから 頑張れた」



▲表彰された皆様

新春祝賀会 自治功労者・生涯学習等表彰

新春祝賀会並びに自治功労者及び生涯学習等の表彰式は1月6日、町民センターで開かれ、100名が出席しました。

はじめに矢澤源成町長から「人口減少社会への新たな挑戦の年にしたい」と年頭の挨拶があり、住みたい住み続けたい町づくりへの強い意気込みを示しました。

続いて、二瓶俊浩町議会議長、山内長県議会議員が年頭のご挨拶を述べました。

次に自治功労者、生涯学習、「十七字で奏でよう」、「社会を明るくする運動標語コンクール」の表彰が行われ、矢澤町長から表彰状が授与されました。



▲表彰された皆様



▲多くの方が出席した会場の様子

表彰者一覧

特別功労表彰	
【前議会議員】 長谷川 清雄（川井）	
功労表彰	
【消防団員】 木ノ戸 日出男（早戸） 諏訪 広幸（浅岐） 星 孝和（西方） 飯塚 英人（西方）	
善行表彰	
【多額の寄付】 明治安田生命保険相互会社 坂下営業所長 月田 誉	

顕彰表彰	
【福島県花卉品評会 金賞・宿根カスミソウ】 鈴木 大平（滝谷）	
【福島県はちみつ品評会 福島県知事賞】 時 任 真由美（川井）	
【さが2024国民スポーツ大会】 ローイング競技少年女子シングルスカル出場】 鈴木 美乃里（会津高校二年・宮下）	
【東北高等学校バレーボール選手権大会出場】 酒井 大 駕（会津学鳳高校三年・宮下） 真田 智 和（会津学鳳高校三年・宮下） 二瓶 佳 悟（会津学鳳高校三年・西方） 飯塚 楽 人（会津学鳳高校二年・西方）	
【全国商工会女性部連合会によるまちづくり顕彰】 三島町商工会女性部	
感謝表彰	
【福島県教職員研究論文特選】 三島小学校 代表 校長 長澤 敏行 三島中学校 代表 校長 酒井 康雄	
【多額の寄付】 滝谷建設工業(株) 代表取締役社長 田 中 智 仁 佐久間建設工業(株) 代表取締役社長 佐 藤 岩 男	

福島大学実地研修 三島小・中学校



給食の様子

11月19日から20日の2日間、福島大学の教育実習の一環として三島小学校及び三島中学校において実地研修が行われました。三島小学校に24名、三島中学校に13名の福島大の学生が来校し、児童・生徒との交流や模擬授業を行っていただきました。

模擬授業では大学生ならではのアイデアやデジタル機器などを使いこなした楽しい授業を行い、授業後には事後研究会が開かれました。

小・中学校の生徒は授業中だけでなく給食やお昼休みまで大学生と交流し、たくさん笑顔がはじけていました。福島大の学生の皆さん2日間ありがとうございました。来年もお待ちしております！



社会の授業の様子



体育の授業の様子



理科の授業の様子

県教職員研究論文「特選」(最高賞) 受賞 ～三島小・中学校長らが矢澤町長に受賞報告～



受賞報告をした三島小長澤校長、渡邊教頭、中学校酒井校長、菅野教頭

本年度の福島県教職員研究論文で最高賞である特選に選ばれた三島小長澤校長と渡邊教頭、三島中学校の酒井校長と菅野教頭は12月26日、福島市での表彰式後、町役場を訪れ、矢澤町長、小堀副町長、山口教育長に受賞を報告しました。

町教育委員会では、学

力向上や地域学習など6つの重点項目について、保・小・中連携教育を積極的に推進しており、年間4回の保・小・中連携授業研究会を実施し、「主体的に学び続ける子どもの育成」を目指して研究に取り組んできました。

これまで研究・実践した成果を小・中学校が合同で論文にまとめたところ、小・中連携での少人数での授業づくりが高く評価され、最高賞である特選を受賞することができました。

両校長・教頭は、「この受賞を励みに一層研究に励み、ふるさとと自分に誇りがもて、主体的に学び続ける子どもたちを育成していきたい」と話していました。

「小・中学生が議員になって質問！！」 三島町次世代の議会



次世代の議会の小・中学生の皆さん

11月28日、三島町次世代の議会が行われました。

普段の生活で感じていることや三島町がさらに発展していくための提案、質問が行われました。

小学校6年生、中学校3年生を中心に、議長や議員、議事録署名人などの体験や、質問内容や答弁を自分の目と耳でしっかりと傍聴する体験など、三島町ならではの貴重な体験をすることができました。

議会終了後には、「本物の議場を体験して、大切な経験ができた」、「1人の町民として、大人の方がたくさんいる場所で意見を言うということは私達にとっても三島町にとっても大切」など様々な感想を述べていました。



満席の議場



質問する布川琉生議員



開会宣言をする齋藤翔子議長



議会終了後の意見交換会

一般質問では、主に三島町の魅力のPRの方法についての質問が多く、児童・生徒の皆さんが普段感じている疑問や質問を投げかけていました。また、布川議員は、気軽に桐細工や伝統工芸品に親しむきっかけとして「各スポットにガチャポンを設置」など具体的な案を資料を手に持ち、分かりやすく説明を行いました。

SNSの活用についても町公式のアカウントが現在無いことや空き家の利活用の促進など、町の総合的な情報発信についても質問がありました。今後、町としての

質問議員・氏名	質問事項
①大竹 薫子 (中3)	「三島町の観光」について
②布川 琉生 (小6)	点在する三島町のよさをつなぎ、三島町のよさをPRするための取り組みについて
③秦 聖之助 (中3)	「三島町の空き家」について
⑤目黒 はな (中3)	「三島町のイベント」について

様々な方法が考えられるか検討し、より良い方法で改善できるように努めてまいりたいと思います。小中学校の児童・生徒の皆さん貴重なご意見ありがとうございました！

「元気いっぱい 楽しそうに演技！」

三島保育所 発表会

12月7日、三島保育所の発表会が行われ、子どもたちは少し緊張しながらも練習の成果を発表を存分に発揮していました。ダンスはもちろん、セリフのある劇では元気いっぱい自信をもって演技し一生懸命練習したことが伝わってくる発表でした。会場に訪れたご家族や町民の皆さんは、楽しそうに演技する子どもたちに終始温かい拍手を送っていました。

「星空の保護と光害について知ろう」

講演会・星空観望会を開催

11月15日、「星空の保護と光害に関する講演会」が、町民センターで開催されました。

はじめに、国内における^{ひかりがい}光害のない暗い夜空保護の推進を行っている「一般社団法人星空保護推進機構」代表理事の上野貴弘さんが、日本ではまだ認知度の低い光害や星空保護区についての講演を行いました。上野さんは、美坂高原の暗さのポテンシャル（すばらしい可能性）について、また、星空保護区認定に向けては住民の方々の理解が非常に重要であることなどをお話いただきました。さらに、「東北初の認定を目指すにあたり、地域をリードする存在となってもらいたい」という期待のお言葉をいただきました。

講演会の後は、曇り空ではありましたが屋外にて星空観望会を実施し、清水健司さん（佐久間建設工業株式会社）に望遠鏡で月や木星を見せていただくことができました。

町では、美坂高原の星空保護区認定に向けて活動を進めており、町民や地域の皆様にも光害や星空保護区に関してなお一層ご理解いただけるよう引き続き努めていきます。

野球の楽しさに触れる！「親子ふれあい野球教室」開催

町野球チーム「ヒートブロウ」による野球教室は、11月16日に三島中学校グラウンドで行われ、小学生を中心に町内の子ども20名が参加しました。子どもたちはチームメンバーからコツを教わりながら、保護者も交えてのキャッチボールや、ノック・バッティング練習などを行いました。

町野球チーム監督の西恭平さん（宮下）は、「野球は1人ではできないスポーツなので、友だちのプレーを見て『ナイスボール』『ナイスバッティング』と声を掛け合いながらみんなで野球を楽しんでほしい」と挨拶され、参加した全員が元気に声を掛け合いながら、楽しんでプレーしていました。

ヒートブロウでは、野球に触れ合う機会をつくり、野球の楽しさ、魅力を知ってもらおうという想いで企画しており、来年も野球教室の開催を予定しています。



▲ぐりとぐら三島保育所バージョン



▲講演会の様子



▲望遠鏡を通して撮影された月



▲ヒートブロウの選手と参加した方々



▲参加者同士や親子でのキャッチボール

早期着工への中心杭設置「桧原バイパス」

12月1日、県道滝谷桧原線「桧原バイパス」の中心杭^{ぐい}設置式が同バイパス終点となる三島町桧原地区で関係者や地元の方々など約40名が出席し行われました。

国道252号と県道柳津昭和線を結ぶ滝谷桧原線は、幅員が狭い上に急カーブが多く、冬季間はスリップ事故が多発するなど安全面に課題がありました。

バイパスは延長1.6キロのうちトンネルが約1キロで、ほぼ直線の道路となり、利便性が大きく向上します。着工・完成期間は未定ですが2025（令和7年）年からトンネルの設計や用地測量などが始まります。

設置式では県会津若松建設事務所長が式辞を、矢澤源成三島町長らが祝辞を述べました。式の最後には中心杭設置（道路の中心となる場所に基準となる杭を打つ儀式）を行い、早期の完成を祈りました。

「道の駅みしま宿で火災予防の呼びかけ」

年末年始特命特別警戒実施中！

12月16日、道の駅尾瀬街道みしま宿で火災予防の街頭広報が行われました。12月15日から1月15日まで「年末年始特命特別警戒」が実施されています。三島町消防団の五十嵐健二団長、会津坂下消防署三島出張所の猪俣雄司出張所長がチラシを配布し、呼びかけました。

本格的な冬を迎え、空気が乾燥し火災の発生しやすい時季となっています。お出かけ前やお休み前は、火の元に十分注意し、火災を起こさないようにしましょう。

JA会津よつば昭和かすみ草部会（4町村）「天皇杯受賞！」

～農林水産祭演芸部門で最高賞 ブランド力に注力～

農林水産の分野ですぐれた業績を上げた個人や団体を表彰する農林水産省の農林水産祭で、昭和村、金山町、三島町、柳津町、4町村の90名人余りの生産者からなるJA会津よつば昭和かすみ草部会が、演芸部門の最高位にあたる天皇杯を受賞し、立川部会長が矢澤三島町長へ受賞報告を行いました。

JA会津よつば昭和かすみ草部会は、特別豪雪地帯ならではの「雪室」と呼ばれる保管施設を活用し、暑い時期でも鮮度を保って出荷していることや、夏と秋を中心に安定的にかすみ草を生産できる地域といて高いブランド力と知名度があることが評価されたということです。

また、県内外から移住した新規就農者の支援や指導を継続的に行って安定を図るなど、担い手の確保に成功している点も高く評価されました。



▲中心杭設置式の様子（矢澤町長）



▲中心杭設置式の様子（二瓶議会議長）



▲猪俣雄司出張所長（中央）、五十嵐健二団長（右）



▲左より工副部会長、矢澤町長、立川部会長、星副部会長

新そば収穫祭～茹でたてに舌鼓～（11月27日）

小島 純さん（宮下）

みやした蕎麦と豆腐の会（会長佐久間宗一）では、11月27日に宮下活性化センターで収穫祭を開催しました。同会は遊休農地を利用してそばを栽培、地区の景観を美しく保つため、地区住民の協力を得ながら活動しています。

収穫祭では参加した皆さんが茹でたてそばを味わいながら交流を深めました。



地区要望・宮下病院移転などに向けた地区座談会（11月28日）

本名 与四郎さん（西方）

11月28日の午後7時より、西方ふるさとセンター2階大広間において地区座談会が行われました。

町当局から矢澤源成町長、山口浩教育長、全体進行役として二瓶聡子さん、議題に関する説明として小松昭産業建設課長、板橋淳也町民課長、北舘亮総務係長の他、地元町職員や町議員の青木喜章さん他3名の議員の方々が出席しました。小松昭さんより、「十数項目に関する地区要望」についての説明がありました。また、宮下病院建て替え基本方針と整備概要と燃えるごみ減量の協力について板橋淳也さんより、次期情報通信サービスについては、北舘亮さんより丁寧な説明がありました。その後、全体を通した4項目に関する多岐にわたる質問や意見が多く、地区民から出されました。特に、宮下病院の新築移転整備では、入退院の際のカートが欲しいこと、売店、コンビニ等の設置の有無について、高齢者の病院までの交通手段についてや病院の出入り口から国道における信号機の設置についてなどの要望や建設的な意見もありました。地区座談会で話し合われた切実な事柄が、空論に終わらずに実現することを願うばかりです。



「地区要望 検討中に うんざりです」

「地区民の 命を守る 病院に より良き意見 反映願う」

「桧原新そば会」（12月14日）

阿部 和彦さん（桧原）

今年は5年ぶりに地域ふれあい・世代間交流を目的とした桧原の新そば会が開催されました。ボランティア桧原が主催し、呼び掛けをしたところ32名の希望者が有りました。当日は地区のそば打ち名人、鈴木隆さんによる「挽きたて」・「打ちたて」・「茹でたて」3たての地粉十割、手打ちのざるそば・かけそばを満喫しました。女性部の作ったけんちん汁やかき揚げ・さつまいもの天ぷら、様々な野菜の漬物も大好評で幼児から高齢者みんなで手料理を味わいました。

交流では令和6年を振り返り、来年も良い年でありたいと語り合いました。準備から本会まで携わった皆様、本当にお疲れ様でした。次年度もよろしくお願いします。



「かしゃ猫ロードトレッキング」行われる（10月27日）

菅家 寿一さん（間方）

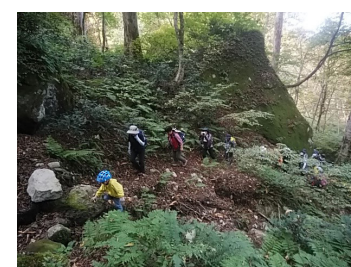
10月27日、紅葉が例年より遅い中、かしゃ猫クラブ主催による、第2回「かしゃ猫ロードトレッキング」が行われました。町長はじめ約30名の方々が参加してください、天候にも恵まれたことから、楽しいトレッキングとなりました。

志津倉山登山口において、開会セレモニーを行った後、かしゃ猫クラブのメンバー達により、巨木のサワグルミ、トチ、ブナ、ハリギリ等、森林の説明をしながら、ゆっくりと歩きました。巨木・巨岩からのパワーと森林からの癒しをいただき、大辺山の秋の一時で、日頃の生活をリフレッシュしていただきました。

昼は登山口において、キノコ鍋を振る舞い、かしゃ猫伝説の紙芝居で楽しんでいただきました。

トレッキングコースは、地区の活性化に繋げようと、県のサポート事業と町の地区支援事業の支援を受け設置したものです。事前にかしゃ猫クラブにより、草刈り、階段切り、落葉・落枝の除去等を実施し、参加者からは、歩きやすかった等の好評をいただきました。

このトレッキングは、町や観光協会のご協力により、昨年から紅葉の季節に実施しています。



美女峠トレッキング行われる（11月3日）

菅家 寿一さん（間方）

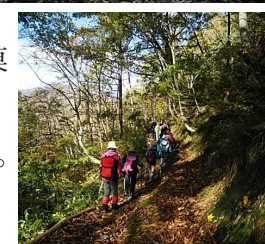
11月3日、かしゃ猫クラブ主催による美女峠往復、約8kmのトレッキングを行いました。遠くは神奈川県等、町内外の参加者35名とスタッフ6名が参加しました。

天気は快晴。紅葉は真っ盛りとまではいきませんでしたが、時折葉っぱがひらひらと舞う中、カサカサと音を立てて、おしゃべりしながらユックリ歩きました。

ぬかるみ 泥濘・水場・ベンチ等は、歩く県道の道普請で整備してあり、快適なトレッキングができました。峠での昼食時には、会員による「とうげのちゃや」のコーヒーとお菓子を振る舞われるとともに、高姫伝説の紙芝居を上演しました。

このトレッキングは、町や観光協会のご協力により、昨年から紅葉の季節に実施しています。

2月23日には、かんじきを履いて雪山を散策するトレッキングを予定しています。



インフルエンザを予防するために（11月21日）

本名 与四郎さん（西方）

11月21日の午後1時よりふるさとセンターにおいて「インフルエンザ予防接種」が行われました。西方区長の五ノ井隆一さん、小松豊さん、小柴茂さんや渡部吉一さんが中心となり、室内の暖房を事前につけて暖めたり、机、イスを設置するなど地区の予防接種を受けられる方々が快適に待つことができるように会場設営が施されてありました。また、来場された地区民の案内や会計係を行い、スムーズな予防接種を行うことができました。

予防接種を受けられた人数は51名と予想を上回る人数でしたが、30分程度で全員の予防接種が終了しました。さらに、奥会津医療センターのスタッフの皆さんが西方ふるさとセンターまで出向いての予防接種に、地区住民へはともありがとうございましたという、感謝の気持ちを話されておりました。

二十四節気の一つである「小雪」は過ぎており、雪に閉ざされる奥会津の冬にインフルエンザが蔓延しないことを願うばかりです。

「予防して インフルエンザ 土下座する」

「元旦に 家族みんなで 日の出待つ 予防で防げ インフルエンザ」



がん検診、受けていますか？

vol.97
健康で元気な毎日！
町民課保健福祉係 ☎ 48-5565

日本人の2人に1人になるという“がん”。早期発見・早期治療が最も大切ですが、早期のうちほとんど自覚症状がありません。毎年きちんとがん検診を受けていただき、町民のみなさんが安心した毎日を過ごせるよう、町では春の総合健診だけでなく、県立宮下病院においてもがん検診を実施しています。

令和6年度中にまだ受診していない方はぜひご利用ください！！

【実施期間】 令和7年3月31日まで

※実施日については町民課保健福祉係（48-5565）までお問合せください。

【実施内容】

検診受診日に三島町に住所を有し、今年度中に以下の年齢に到達する方が対象となります。

No.	検診項目	対象者	自己負担額	実施方法
1	肺がん検診	50歳以上の方	500円	胸部レントゲン撮影
2	大腸がん検診	40歳以上の方	500円	便潜血検査
3	前立腺がん検診	50歳以上の男性	500円	採血

※以下の方は受診できませんのでご注意ください。

- 職場等で本検診と同様の検診の受診機会のある方
- 受診を希望する検診のがんの治療中又は経過観察中の方

【実施場所】 福島県立宮下病院

【受診方法】 町民課保健福祉係までお申し込みください。

健康第一！また1年、
元気に過ごしましょう！



図書のご案内

町民センターゆめぽけっと

●利用時間
月～金 午前9時～午後9時
土・日・祝 午前9時～午後5時

●お休み
年末年始

☎ 公民館 ☎ (48) 5599

●今月のおすすめ

地面師たち

新庄 耕 著

Netflixでドラマ配信が開始されブームを巻き起こしている「地面師たち」の原作小説！！

土地の所有者になりすまして売却をもちかけ、多額の代金をだまし取る不動産をめぐる詐欺を行う「地面師」の犯罪を描く。実際に起きた事件をモデルにした作品です。



●図書の紹介



モヤモヤ・イライラ
とのつきあい方

藤野 智哉 著



水車小屋のネネ

津村 記久子 著



存在のすべてを

塩田 武士 著

早戸・お楽しみ会（12月14日）

橋本 光五郎さん（早戸）

早戸地区の女性陣による「お楽しみ会」は、今年から新しいメンバーの参加も得て春から月2回の活動を続けてきましたが、例年どおり、雪の季節を迎える前の12月2日で今年の活動を締め括りました。

紙バンドでのカゴ作りも今年で4回目となるので、みなさん技術も上がりいろいろと手の込んだ作品や大きな作品にも挑戦してきたようです。

最終日は、制作活動終了後、お弁当の昼食を食べながら歓談し、今年の活動内容を振り返る楽しい時間を過ごして活動を締め括りました。活動再開は来春の雪が溶けたところからになります。



早戸のクリスマス会（12月23日）

橋本 光五郎さん（早戸）

恒例となった早戸地区のクリスマス会が、今年も12月23日（月）のお昼から開催されました。大雪注意報が出るなど外は雪が降りホワイトクリスマス。部屋の中には今年も清水さん親子がクリスマスの飾り付けをしてくださり、また、佐久間源一郎氏からはクリスマスケーキの差し入れも頂き、すっかりクリスマス気分。そんな雰囲気の中でお弁当やケーキを食べながら楽しく歓談する時間を過ごす事ができました。

最後にこれも恒例となったクリスマスプレゼントをそれぞれ受け取り、その中身の話題でまた会話も盛り上がりながら、今年のクリスマス会も散会となりました。



地域おこし協力隊 活動誌

新年おめでとうございませす

西田 星弥

地域おこし協力隊の西田です。明けましておめでとうございませす。

2025年最初の協力隊活動誌です。昨年はようやく協力隊としてのメイン業務が大きく動き始めたり、良いことがありながらも終盤には業務用のPCが不調になってしまったりと好不調の波が激しい1年間でした。本年は2025年ということで私自身の任期も6月未までの残り半年間となりました。

ので、少しでも三島町に意義のあるものを残せるように残りの任期まで精進したいと思っています。そのECサイトですが、コストを極端にかけない方向にシフトしているため、立ち上がりとしてはかなりスロースタートとなっています。インターネット以外での販促施策としてチラシの作成等も進めている状況です。町内、近隣のイベントの際に持ち込めるようなチラシを意図しているため、こちらも地道に手配を進めたいと思います。繰り返しにはなりますが、残り任期終了までやれることをやれるところまで責任を持って進めたいと思いますので引き続きよろしく願います。



奥会津 三島町の
みしま市場
0241-48-5220
ご注文はQRコードから

▲ EC サイト



—台湾工芸交流—

11月から12月にかけて、昨年度締結した国立台湾工芸研究発展センター及び雲林科技大学との友好交流協定に基づき、3つの事業が行われました。

①「台湾工芸聚～Taiwan Craft Gathering～」に出店

11月15日から17日の3日間、台湾の新北市大溪において行われた「台湾工芸聚～Taiwan Craft Gathering～」に参加しました。工人まつりのように出店者が集うクラフトイベントを台湾工芸センターの主催で行われ、町からは三島町生活工芸運動友の会及び会津桐タンス(株)が参加し、台湾工芸センターが支援する58の地域工芸団体の方々と共に軒を並べました。三島町と古くから交流して頂いている方々ははじめ、多くの方が三島町ブースにお越しいただきました。



販売作品

②「奥会津工芸の旅」13名が奥会津の工芸巡り

雲林科技大学の学生を中心として13名が、11月25日から30日の6日間三島町に宿泊しながら奥会津の工芸に触れるツアーに参加されました。

三島町では2日間、生活工芸館にてクルミのポシェットづくりを体験し、材料をひごにるところから制作しました。次の日からは昭和村のからむし織や柳津町の赤べこ制作、また只見線乗車や雪の大内宿見学などのツアーを楽しみました。大学では、工芸・製作体験を中心にした旅を研究しているとのことで、台湾の方々は、「身近な素材から作成し日常的に使えるものが完成してとても感動した。」と感銘を受けていました。



クルミのポシェットづくりの様子



雲林科技大学の皆さんと集合写真

③「台湾工芸オンライン交流会」

12月11日に台湾工芸センター主催のオンライン交流会が開催されました。町長はじめ12名が参加し、三島町からは50周年を迎えたふるさと運動と生活工芸運動、ふるさと会津工人まつりの事例を報告し、台湾工芸センターの陳主任からは「工芸と生きる、工芸を生かす」と題して生活に工芸を取り戻す運動を台湾で展開する趣旨の発表がなされました。また、雲林科技大学の黄世輝教授からは台湾の工芸・民芸に関する事例報告として三島町的生活工芸が紹介されました。



オンライン交流会の様子



オンライン交流会記念写真



イベント出店の皆さんと集合写真

問 三島町生活工芸館 ☎ (48) 5502

農業委員会からのお知らせ

農地の貸借が農地中間管理事業による貸借に一本化されます

令和7年4月以降の貸借は、市町村(農業委員会)による相対契約(利用権設定)がなくなり、市町村が策定した「地域計画」に基づいて農地中間管理事業による貸借を行うこととなりますので、農地中間管理事業を積極的に御活用ください。(農地法3条許可は、引き続き利用可能です。)



ご相談 お願いします
公益財団法人福島県農業振興公社(福島県農地バンク) 〒960-8681 福島市中町8番2号
TEL.024-521-9845(中継り・会津担当) TEL.024-521-9843(浜通り担当) TEL.024-503-0421(被災12市町村担当)
※または、農地の所在する各市町村農政担当課・各JAまでご相談ください。

携帯・スマートフォンはこちらから
<http://www.fnk.or.jp>

地域循環コラム 第2回

～地球温暖化対策と森林の繋がり～

前回、森林管理の必要性和森林資源の活用について掲載しましたが、森林にはその他にも地球温暖化対策(ゼロカーボン)にも寄与するため、今回はそちらについても少しふれたいと思います。

■ 森林が二酸化炭素(CO2)排出削減に関係する？

樹木には、成長のために代表的な温室効果ガスであるCO2を吸収し、炭素を固定させる性質があるため、人工的に管理された森林は、CO2の吸収源として地球温暖化の抑制にも繋がります。

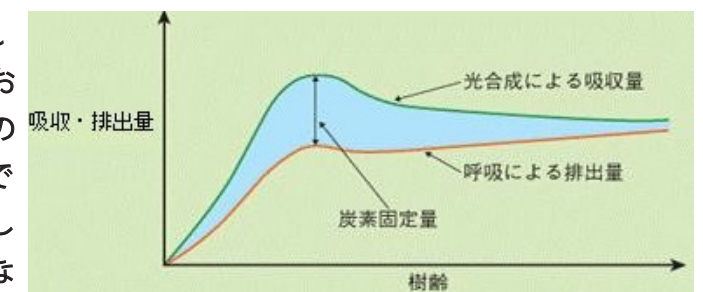
■ 吸収源は管理された人工林のみが対象？

国際的なCO2の削減目標は「温室効果ガスの人為的な発生源による排出量と吸収源による除去量との間の均衡を達成すること」としており、自然の中で生み出されているCO2の排出・吸収量は対象外となっています。森林も同じ考えで、人の手で作り管理する人工林は吸収源の対象となり、原生林などは対象外になります。

ただ、森林経営区域の中には、水源かん養や土砂災害防止などの公益的機能を考えて、自然力を活用して管理を行う天然林としている場合もあります。現在、こうした森林も吸収源と見なせないか検討されています。

■ 三島町の森林も吸収源？

まず、先述のとおり管理されている森林であればCO2の吸収源になります。しかし、右図のとおり樹齢によりCO2の吸収量が異なります。スギの場合、樹齢10～20年が最も吸収して炭素を固定でき、樹齢50年以上になると固定量がかなり低下します。町の森林のほとんどが50年以上の林齢となるため、施業による森林の若返りも必要になってきます。



出典：林野庁ホームページ「地球温暖化防止に向けて」

地球温暖化対策では、CO2排出抑制が重要であることには変わりませんが、吸収源となる森林を管理していくことで総合的なCO2排出量を低減できます。また、この考えはCO2の排出権取引としても注目されています。

問 地域政策課 ☎ (48) 5533



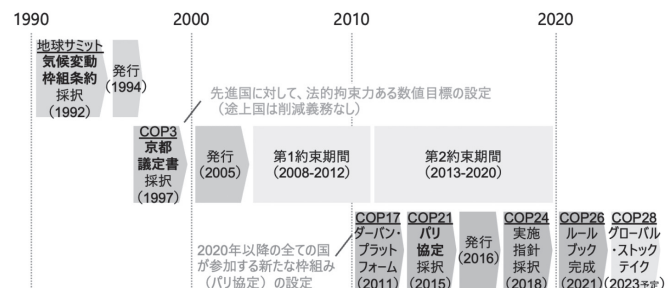
国環研だより 第77回

COP29 が開催されました

三島町のみなさま、あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。さて、今回は昨年 11 月にカスピ海の西にあるアゼルバイジャンで開催された COP29（国連気候変動枠組条約第 29 回締約国会議）で、どのような話し合いが行われたのかについてご紹介したいと思います。

まず、COP（「コップ」と呼びます）についてのおさらいになりますが、COP とは締約国会議（Conference of the Parties）の略称です。様々な国際条約の中で、その加盟国が物事を決定するための最高決定機関として設置されていて、今回紹介するものは国連気候変動枠組条約の COP です。なので気候変動に関する話題となりますが、他にも「生物多様性」や「砂漠化」の COP もあります。

この COP は 198 か国などが参加する気候変動に関する最大の国際会議で、1992 年に「地球サミット」という地球温暖化やオゾン層の破壊、生物多様性の喪失、熱帯林の破壊など深刻化する環境問題への対策のために行われた会議をきっかけとして始まり、その後 1995 年から毎年開催されることになりました。1997 年の COP3 は京都で開催され、先進国が温室効果ガスの排出量を削減することを約束する「京都議定書」が採択されました。さらに 2015 年の COP21 では「2020 年以降も世界の平均気温上昇を産業革命以前に比べて 2 度より低く、1.5 度に抑えるよう努力する」という京都議定書にかわる「パリ協定」が採択されました。



COP での主な出来事（脱炭素ポータル HP より※ 2023 年度記事）
https://ondankataisaku.env.go.jp/carbon_neutral/topics/feature-01.html#about-1

【参考文献】

- ・A-PLAT「COP29 気候変動適応特集！」
https://adaptation-platform.nies.go.jp/climate_change_adapt/cop/index.html
- ・NHK「COP29 途上国の気候変動対策支援の資金で合意 途上国非難の声」
<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20241124/k10014647881000.html>
- ・PIVOT 公式チャンネル【最新解説：COP29】COP29 で語られたこと／日本の存在感／「資金の COP」と言われた理由／途上国が求める 1 兆ドル以上の支援／アメリカの支援は見込めない／インドの猛烈な抗議／欧州経済の悪化
<https://www.youtube.com/watch?v=Za1fFBZIOc>

このパリ協定によって各締約国は 2030 年までに自分の国の温室効果ガス排出量を削減する目標を設定し、その目標に向けて様々な取り組みを行うことが求められます。日本でもこの動きを受けて 2020 年に国として 2050 年をめぐに温室効果ガスの排出を全体としてゼロとする宣言を行い、三島町でもゼロカーボンビジョンを策定して取り組みを進めているところです。

今回の COP29 で最も注目されたポイントは「資金について」でした。これまで発展途上国が気候変動対策を行うための資金を先進国が支援していましたが、気候変動が進む中、途上国が対策に必要とする資金も増えており、それに対して十分な金額とはなっていませんでした。2025 年以降の資金支援に関する交渉は 2 日間会期を延長し続けられ、「2035 年までに少なくとも年間 3000 億ドル、日本円にして 46 兆円あまりを途上国に対して支援する」として一応の合意が得られました。しかし、インドやナイジェリアなどの途上国からは目標額が低すぎるなどの批判が相次ぎました。この理由としては、途上国の多くは温室効果ガスの排出が少ないにもかかわらず、先進国がこれまでの経済成長の中で大量に排出してきた影響を受けるという不公平感があるからで、COP での交渉の重要なポイントのひとつとなっています。

「アゼルバイジャンで国際会議がありました」とだけ聞くと、どこか遠い世界で私たちとは関係のないことを話しあっているように感じてしまうかもしれませんが、最近の大雨や洪水、干ばつなどの異常気象の原因として気候変動が挙げられており、実はこういった世界的な取り組みがこれからの私たちの生活とつながっているという「感覚」を持つことが大切と考えていますので、皆さまにも考えるきっかけとしていただければと思います。



ときわ たつひこ
筆者 常盤 達彦

国立環境研究所福島地域協働研究拠点
地域環境創生研究室 ☎ 0247 (61) 6572

町史編さん室だより

第108回

『宮下大火』とその復興（2）

「ご家庭に古い文書や写真などがございましたら、交流センター山びこへご連絡ください。」

☎(52) 21665

昭和17年（1942）4月11日に起きた「宮下大火」と呼ばれる大火災に關し、今回は同年5・6月の復興に向けた動きと、幻となった「五人組共同家屋」の建築について紹介します。

宮下村役場日誌を確認すると、宮下村復興委員会が設立し、その委員会の第1回が5月3日に、第2回が18日に開催されています。また9日には会津文化協会と合同で宮下復興に関する座談会が、25・26日には同協合理事長外数名が訪れ宮下復興についての協議が開かれています。そして5月下旬には『宮下村復興委員会趣意書』が完成しました。趣意書には、明治以降の宮下における火災の歴史（その不利な環境的条件）、また大火発生から趣意書作成までの経緯がまとめられている他、復興に向けての想いが語られ、また今後の復興が政翼賛会、県当局、会津文化協会、雪害地方開発指導所、日本放送電株株式会社、農工銀行、飛島組、その他の支援や協力を得て実施されることに感謝し、これら団体の参画により「大宮下村復興計画」案が成ったことが建設の第一歩であるとしています。

6月になると、村長と宮下復興委員が福島市へ1日から3日にかけて復興陳情に出張。4日に住宅建築に関する講演会が開かれ、6日には県の技師による視察、12日には「宮下村復興委員設置条例」が設定され、16日には宮下復興懇談会、22日には県出張員による建築に関する相談会を開催、23日には宮下の宮昌寺に建築相談所を開所、26日には復興委員会、29日からは日本放送電本社に復興問題の折衝のため村長外2名が上京、帰庁した7月2日に復興委員会が開かれています。

さて、6月4日の住宅建築に関する講演会の講演者は建築学や民俗学、考現学に精通する早稲田大学の今和次郎教授でした。講演会を行っただけでなく、連れてきた早稲田大学の学生と共に、建築相談に協力したとあります。

今氏はこの時の建築相談に端を発する「五人組共同家屋」の設計について、著作『暮らして住居』（昭和19年刊行）において触れています。記述によると「薄暗い村のお寺の一室での座談会の席で、二三の人から（中略）、家も中々建て難いし、家財類を整へるのにも不自由なのだから、なるだけ共同式に出

来るところはそれで進む、協力一致で新生活を創めやうぢやないか」と熱く村民に語られたことで、今氏はそれならばと、その想いを実現するための建築設計を帰京後に行ったとあります。

これが「五人組共同家屋」で、敷地内に各軒約30坪、5軒で計約150坪の家を離して建て、その他に1軒あたり約6坪ずつの土地を提供し、約30坪の共同建物と建てるという設計です。そして共同建物に「炊事場」「風呂場」「脱衣場」「化粧室」「子供の遊び場」「座敷」「物置」「押入」「便所」「井戸」「洗濯場」「物干場」を設け共同利用することで、各戸からそれらを差し引き、余裕のある住宅にするというものです。生活方法としては、当番の主婦が（場合によっては副当番と一緒に）共同建物にて炊事・風呂の支度や子供の見守り、掃除などを行うことで、当番以外の主婦が家事をせずに仕事に従事できるというものを今氏は想定しています。そして「実現した暁は、日本的なそして歴史的な存在としてこの山の村に見らるることになるでせう」と期待しています。昭和17年12月の『宮下復興報告』には「五人組共同



▲昭和 17 年か 宮下大火後の家屋建築作業（宮下 五十嵐 郁子氏 提供）

家屋」が全国に先駆けて宮下村に明春起工、建設されると記されています。この「五人組共同家屋」について、当時を知る宮下の方に聞くと、こういった家屋の他に道路をどれだけ拡張するかの議論もあつたようで、復興委員や当事者たちが相談を重ね、また賛成・反対の大激論が交わされた末、結果として「五人組共同家屋」は実現せず、現在の町並みが形成されたとのことです。

※引用文のルビは筆者によるもの（町史編さん室）

町からお知らせ

ご寄附ありがとうございました

ふるさと納税(11月分)

神賀悠輝様(東京都)
鈴木滉矢様(福島県)
小林成貴様(滋賀県)
羽藤誠仁様(北海道)
丹野光明様(千葉県)
五十嵐誠幸様(埼玉県)
村松速雄様(神奈川県)
小久保一夫様(千葉県)
井口清志様(神奈川県)

寄附件数 55 件 計 782,000 円

テレサ・テン歌碑建立 P 寄附金

荒居達雄様(東京都)

1月分納税のご案内

【納期限 1月31日(金)】

- ▼ 町県民税 (普通徴収)(第4期)
 - ▼ 後期高齢者保険料 (普通徴収)(第6期)
- 忘れずに納付してください。

☎町民課 町民係 ☎(48) 5555

お悔み申し上げます

馬場幸江様(95才・大登)
久保田節子様(93才・宮下)
五十嵐榮子様(89才・名入)
飯塚キシノ様(74才・大石田)
小松正志様(81才・西方)

町の人口と世帯(12月1日現在)

人口	1,332	増減数	-4	出生	0
男	677		-2	死亡	2
女	655		-2	転入	2
世帯	674		-2	転出	4

※住民基本台帳による数値です。増減数は前月との比較、出生・死亡・転入・転出は前月1カ月間に届出のあった人数です。

社会福祉協議会より

ほがらかサロン

1月24日(金)
午前10時から
森の校舎カタクリ

高清水・小山
いきいきサロン

1月24日(金)
午前10時から
高清水集会所

サロンないり

1月27日(月)
午前10時から
名入集会所

大石田友遊サロン

2月3日(月)
午前10時から
大石田集会所

桧原はつづクラブ

2月4日(火)
午前10時から
桧原集会所

川井友愛サロン

2月5日(水)
午前10時から
川井集会所



町社会福祉協議会へのご寄附
(ご遺志によるもの)

馬場寿信様(大登)
舟木宗喜様(間方)
五十嵐正人様(名入)
飯塚徹様(大石田)
小松丈様(西方)

☎社会福祉協議会 ☎(52) 3344

浅岐あったかサロン

1月14日(火)
午前10時から
浅岐集会所

大石田友遊サロン

1月15日(水)
午前10時から
大石田集会所

ひまわりサロン

1月17日(金)
午前10時から
町民センター

川井友愛サロン

1月17日(金)
午前10時から
川井集会所

滝谷和楽塾

1月21日(火)
午前10時から
滝谷集会所

間方いきいきクラブ

1月22日(水)
午前10時から
間方集会所

サロンなごみ

1月23日(木)
午前10時から
西方ふるさとセンター

消防署からのお知らせ

「文化財防火デー」とは？

昭和24年(1949年)1月26日に、現存する世界最古の木造建造物である法隆寺の金堂が炎上し、壁画が焼損したことに基いており、火災や震災などから文化財を守ろうと全国で防火運動が展開されます。

三島町には町指定の有形文化財が数多くあります。その多くは木や紙、布など燃えやすい素材で作られているため、所有者や管理者の皆さんはもちろんのこと、周辺の皆さんも火の取り扱いには十分注意し、大切な文化財を後世に引き継いで行きましょう。

また、この時期は、暖房器具の取扱い及び除雪作業の事故に十分注意してください。

年末年始特別警戒実施中
令和6年12月15日(日)～令和7年1月15日(水)

☎会津坂下消防署 三島出張所
☎(52) 3032 / FAX (52) 3033



会津坂下警察署からのお知らせ

詐欺電話にご注意！
～それ、本当に警察官ですか？～

11月末現在、県内において、26件2億8590万円のオレオレ詐欺被害が発生しています。

特に最近、警察官や検察庁を名乗り「あなたが詐欺の犯人として浮上している」などと言って電話からSNS(LINE等)に誘導し、写真やビデオ通話で警察手帳や様々な書類を見せることで信用させ、最終的には「身の潔白を証明するため」や「あなたの口座のお金を守るため」などの理由で金銭を要求され被害に遭うケースが増えています。

警察官や検察庁がSNSやビデオ通話で連絡を取ることは絶対にありません。もし、福島県警や他府県の警察を名乗る者から金銭に関する電話があった場合には相手の所属警察署や担当する係、氏名を確認し、警察署に連絡してください。

☎会津坂下警察署警務係 ☎0242(83) 3451

宮下病院長から新年の御挨拶

あけましておめでとうございます。令和7年を迎え、皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。当院は、昨年より在宅医療部門を会津医療センターから引き継ぎ、皆様がご自宅でも安心して療養できるようサポート体制の充実を図りました。また、病院建替に向け、より快適で安全な医療環境を提供できる施設となるよう引き続き計画を進めていく所存です。今年も職員一同、地域に根ざした医療提供を心がけてまいりますので、どうぞ変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

福島県立宮下病院 院長 横山秀二

福島県特定最低賃金額の改定のお知らせ

1 地域別最低賃金

福島県内で働くすべての労働者とその使用者に適用されます。

福島県最低賃金	最低賃金額 (時間額)	効力発生年月日
	955 円	令和6年 10月5日

※「2 特定最低賃金」が適用される労働者を除く。

2 特定最低賃金(10/5～各業種が改定されるまで)

福島県内で次の業種に該当する事業場で働く労働者に適用されます。

業 種	最低賃金額 (時間額)	効力発生年月日
自動車小売業 (二輪自動車小売業 (原動機付自転車を 含む)を除く。)	960 円 ↓ 1,020 円	令和6年12月29日
非鉄金属製造業	955 円 ↓ 996 円	令和7年1月4日
輸送用 機械器具製造業	995 円 ↓ 1,005 円	令和6年12月21日
計量器・測定器・ 分析機器・試験機等	955 円	福島県最低賃金適用
電子部品・デバイス・ 電子回路等	955 円	福島県最低賃金適用

詳しくは福島労働局賃金室のホームページをご確認ください。

☎福島労働局賃金室 ☎024-536-4604

第52回

雪と火のまつり

伝統行事の再現

国指定重要無形民俗文化財

「三島のサイノカミ」



令和7年(2025年)

2月15日(土)

【会場】
交流センター山びこ前広場

【開場】
13:00 ~ 19:00

【交通のご案内】

磐越自動車道 会津坂下 IC より車で約 30 分
JR 会津西方面より徒歩約 20 分



【お問い合わせ】雪と火のまつり実行委員会事務局 (三島町観光協会) ☎0241-48-5000

【WEBサイト】三島町公式ホームページ <https://www.town.mishima.fukushima.jp/>

三島町観光ポータルサイト <https://www.town.mishima.fukushima.jp/site/kankou>

【主催】雪と火のまつり実行委員会 【共催】三島町公民館

【後援】福島民報社・福島民友新聞社・福島テレビ・ふくしまFM・株式会社ラジオ福島・電源開発株式会社・極上の会津プロジェクト協議会・只見川電源流域振興協議会

三島町公式
ホームページ



三島町観光
ポータルサイト

